

未来を開く

長井市立長井北中学校 No5 令和5年5月19日

◆ 生徒会スローガン ◆
樹 ～ 進取果敢 ～
◆ 重点活動 ◆
あいさつ 積極性 SDGs

5月11日(木)に開かれた生徒会総会において、令和5年度の生徒会スローガン、重点活動、各専門委員会の活動計画が承認され、本格的に生徒会活動が動き出しました。上記は、そのスローガンと重点活動です。

==スローガン等に込められた思い==

「樹」(いつき)は「根」「幹」「枝」「葉」で構成されています。それぞれに意味を込めて、目指す北中を確立していきたいという願いがあります。

「根」…今まで繋いできた伝統、校風、歴史を土台とし、新たなものを創り上げていく

「幹」…今の北中の良さ、課題を捉え、改善策や企画を考え、学校全体を向上させていく

「枝」…様々な人との関わりや自分の力、個性を広げていく

「葉」…1年の中で自分達の成長や身についた力

サブタイトルである「進取果敢」には、自身の意思で積極的に、大きな決断力を持って、失敗を恐れずに取り組むという意味が込められています。

北中生徒会を成長し続ける樹に例え、何が必要か具体的にイメージできるスローガンです。

「元気・笑顔・会釈・自分から」という4つの柱を意識した「あいさつ」、物事に自ら進んで働きかけ、意欲的に取り組む「積極性」、ボランティア精神と思いやりからできる「SDGs」、この3つの重点に北中生全員で取り組み、どんなことがあっても、びくともしない、たくましく、しなやかに伸びる樹(いつき)を北中生一人一人の手で創り上げていってほしいと思います。

どんな北中を創り上げるか、楽しみです。



第1回避難訓練を実施 整然とした訓練を 行うことができました

今年度第1回目の避難訓練を5月18日(木)に実施しました。火災を想定した訓練で、消防署と日本防災の方々をお招きして、指導いただく予定でしたが、救急要請があったということで、消防署の方々にはお出でいただくことができませんでした。そのため、消火器を用いた訓練はできませんでしたが、通常の避難訓練と避難梯子の使い方を見ることで、火災に対する認識を深めました。

最初の避難訓練ということで、教室で避難経路の確認や火災時の避難で大切にしたいことを確認してから訓練に入りました。実際に警報器や防火シャッターを作動させ、グラウンドに避難しました。話をせずに整然とした避難を行いました。煙に対する意識が少し薄かったところがありました。

避難開始から、点呼・報告までに要した時間は合格点でした。



その後、避難梯子を使っての避難の様子を見ることができました。生徒及び職員を代表して、鈴木智裕先生に体験をしていただきました。実際の様子からは、揺れる様子や梯子が最後まで届いていない部分もあり、もし実際に使う場面があったら、気をつけなければならないと感じることもできました。

講評の中で話をした炎や煙から自分の身を守るポイントを紹介します。

- ① 早く非難する。(物に固執しない)
- ② 下に避難する。そして外に避難する。
- ③ できればドアや窓を閉める。ドアノブなどが熱かったら、ドアの外側が高温になっていることが予想されるので、その場合は開けない方が賢明。
- ④ タオルやハンカチ、衣服などで口と鼻を覆う。できれば濡れているとよい。
- ⑤ 低い姿勢で避難する。状況によって、はって避難、視界が悪い場合は壁をつたいながら避難する。



状況によって避難の仕方は変わってきます。これを基本としながら、より安全に対応できる知識、判断力、行動力を身に付けていきたいものです。